



Advanced Robotics Foundation (ARF)

Press Release



一般財団法人 先端ロボティクス財団

〒104-0041 東京都中央区新富 2-1-7 富士中央ビル 6F

TEL 03-5244-9810 FAX 03-5244-9811 URL <https://arf.or.jp>

先端ロボティクス・チャレンジで Drone Fund が起業支援へ

一般財団法人先端ロボティクス財団(ARF)は、2020年6月28日～7月5日、世界最大級の World Drone Competition として開催予定の第1回「先端ロボティクス・チャレンジ(以下、ARC)」(福島県)において、Drone Fund(本社:東京都港区、代表:千葉 功太郎、大前 創希)が、優秀な成績を収めたチームへの経営的・財政的パートナーとして参画することを発表する。



Advanced
Robotics
Challenge

概要

ARC には、①先端ロボティクス分野およびドローン産業分野の未来を拓く若手人材の発掘と育成、②スタートアップの環境を醸成、③ドローン産業を含む先端ロボティクス産業の振興という3つの目的がある。今回の Drone Fund との連携体制は、②に位置付けられる。

書類選考(ヒアリングも含む)にパスしたチームには、その時点で主に大学関係チームを対象に研究助成金が支給されること、そして本戦で優秀な成績を収めた複数のチームにはさらに賞金が授与されることになっている。これらに加え、Drone Fund は優れた技術を有し、優秀な成績を残したチームを独自に選考し、ARC 終了後の経営的・財政的支援を担っていくこととなる。

詳しいスキームは、12月11日(水)14:30～15:30、先端ロボティクス財団事務所にて開催予定の共同記者会見(次頁参照)で発表する。



記者会見について

- 記者会見出席者：野波健蔵（ARF）、千葉功太郎（DF）、大前創希（DF）
- 日時：令和元年 12 月 11 日（水）14-15 時半
- 場所：一般財団法人先端ロボティクス財団
〒104-0041 東京都中央区新富 2-1-7 富士中央ビル 6F
- 電話：03-5244-9810
- FAX：03-5244-9811
- URL：<http://arf.or.jp>
- 交通：東京メトロ有楽町線新富町駅下車 2 番出口徒歩 1 分
東京メトロ日比谷線築地駅下車徒歩 5 分
- 備考：中央区役所および銀座ブロッサムの反対側の茶色のスレンダービルの 6 階
- 会見申込先：電話、FAX、メール（info@arf.or.jp）

背景

Drone Fund 創業者/代表パートナーの千葉功太郎氏は、2008年に株式会社コロプラの創業に参画（取締役副社長）し東証一部へ上場させた。また ARF 理事長の野波健蔵は2013年に ACSL 社を創業し、2018年に東証マザーズへ上場させた経験を有しており、ともに起業家の顔を持つ。

千葉功太郎氏の Drone Fund は「ドローン前提社会」と「エアモビリティ社会」の創出を目指す世界有数のドローン・エアモビリティ特化型 VC である。一方の野波健蔵は大学教授としての研究活動のかたわら、日本のドローン研究第一人者として、日本ドローンコンソーシアム会長を歴任するなど国内ドローン産業を牽引してきた。両者は実業家・投資家、研究者・経営者という異なる側面もあるが、ドローン産業に対する危機感と、将来ビジョンは完全に一致していたため、この度の、ARC を通じた若手人材育成とスタートアップ支援体制の構築に向けて意気投合した。

2017年創業の Drone Fund は、1号・2号ファンドで合計68億円の資金調達を行い、これまで国内外のドローンスタートアップ企業32社に出資してきた。今度、ドローン産業のエコシステムを強化するためには、起業前の段階からの人材発掘も進めていく必要があるという認識を持っている。今回第1回大会となる ARC には、将来のドローン産業を担う世界のドローン研究者・開発者が集う。そこにおいて Drone Fund がその目利き能力を活かし、優秀な人材を発掘し、起業に向けた経営的・財政的支援を行うというのが、本連携の趣旨である。



Advanced Robotics Foundation (ARF)

Press Release



一般財団法人 先端ロボティクス財団

〒104-0041 東京都中央区新富 2-1-7 富士中央ビル 6F
TEL 03-5244-9810 FAX 03-5244-9811 URL <https://arf.or.jp>

また Drone Fund に限らず、ドローンに用いられている先端技術は、コンピューターサイエンス、ソフトウェア・ハードウェア、制御技術、画像処理、人工知能、高速通信などで先端ロボティクスの基盤技術であるため、様々な分野への波及効果が期待できるだろう。スポンサーとして協賛いただく大手企業にとっても、将来のドローン事業推進における即戦力となりうる優秀な人材を発掘していただくことが可能となる。

ARF は、ARC を通じて未来人材を育成するという大きなミッションを有している。ARC を契機として、未来人材の発掘機会は増え、またその正確性も極めて向上するものと思われる。いわば高校野球の夏の甲子園、春の選抜である。Drone Fund の参画により、そのミッション実現がさらに加速することを期待する。

【先端ロボティクス財団について】

略名称：ARF（エーアールエフ）

正式名称：一般財団法人先端ロボティクス財団

代表者：理事長 野波健蔵

所在地：東京都中央区新富 2-1-7 富士中央ビル 6F

事業内容：先端ロボティクス分野の人材育成等

ウェブサイト：<https://arf.or.jp/>

<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先>

事務局 info@arf.or.jp

【Drone Fund について】

略名称：Drone Fund（ドローンファンド）

正式名称：千葉道場ドローン部 1 号投資事業有限責任組合

千葉道場ドローン部 2 号投資事業有限責任組合

運営会社：鎌倉インベストメント株式会社

代表者：千葉功太郎、大前創希

所在地：東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 6F

事業内容：ドローン、エアモビリティ関連への投資及び協業支援

ウェブサイト：<http://dronefund.vc>

<本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先>

「Drone Fund」広報担当 pr@dronefund.vc